



異なる価値観に触れるという経験

こんにちは今津教室の平島です。約一年カナダのカルガリーに留学してこの度帰ってきました。今回は私がカナダで驚いたことをお伝えしたいと思います。

カナダは様々な国出身の方がいる国で色々な言語や宗教観を持った人たちが共存しています。恥ずかしい話、私は留学に行くまであまりカナダに興味がなく何も調べずに留学に行きました。ですから、私は勝手にカナダでは一年中雪が降っているヨーロッパ系の人たちが住んでいる国なのだと思っていたのです。しかし実際は異なりました。私はホームステイという形で住まわせていただいたのですが、一つ目がベネズエラ出身、二つ目がフィリピン出身のご家庭で互いに全く違う文化や宗教観を経験して驚きました。また、日々の食事に於いても文化の違いを経験しました。私がお世話になって

いたベネズエラ出身のご家庭では、主に焼いたチキンを多く食べ、時々その他の国の料理であるパスタなどを食べているといったような食事でした。(ただ2ヶ月同じ味のチキンが続いた時は辛かったです(笑))また、フィリピン出身のご家庭では食事に多くのフルーツが入っていたりスープやご飯に豆を使うというフィリピンの料理を出してくださっていました。それもまた様々な文化圏が混合するカナダならではの出来事だと思います。



私の感想にはなりますが、カナダにいる多くの外国人がカナダに引っ越してきて自分たちの出身の国の生活スタイルを貫いていると思います。日本にいる外国人は日本の生活に溶け込む人が多いので大きく異なるように思います。それに対してとても興味深いなと感じましたし、それと同

平島 颯太郎(今津教室)

時に自分の母国に誇りを持つことの素敵さにも気づきました。

そして日本の外に出てみると、同時に私達の国の素晴らしさにも気づくことができます。私はカナダに英語を学びに行きましたが、そこで得た経験はとても価値のあるものだと思います。もし皆さんが長期でも短期でも日本の外に出る機会がありましたら、是非行ってみてください。そしてそこでいろいろな経験をしてください。それらはきっとこれからの人生で貴重な経験になると思います。



シルバのちょっと

TEACHER'S VOICE Talking Kids Silvestre Benigno Medelin

The love of English! 英語への愛!

February is a love month, so I want to talk about the love of English. The need of English language is seen all over the world, not only because of business and education but also for traveling abroad. Your horizon of career, education, and wonderful experiences is broadened and the probability of achieving success is high. Nowadays businesspeople expand their businesses overseas for companies' growth and limit the cost since developing countries have a cheaper cost when it comes to manpower. A lot of students go abroad to study various fields and the medium of instruction is English. Undeniably, we also love to travel and the key to amazing experience abroad is the knowledge of basic English.

English is noticeable when they speak to foreign English teachers. It is different from those who study without any interest. Actually, students have other priorities and activities to attend to but if you love to do something you always find a way to do it. Learning to love English is the key to achieving a high score or to pass an English test. Now matter how countless you review and study if your heart is not in it, the result is not favorable.



There are ways to learn to love English that can be done without hindering your other priorities. The best way to learn English is to set your mind to love English. You must live the language. If you love English, everything follows. The amount of learning is higher since you love it. Exposing yourself to English

いつも生徒達に伝えています。英語で話している、英語が好きで生徒の熱意はこちらにも伝わってきます。何の興味もなく勉強している人とは違います。実際、学生は他に優先することや活動があり忙しいのですが、好きなことであれば、必ずそれを勉強する方法を見つけることができます。英語を好きになることが、テストでの高得点や英検合格への近道です。国を挙げてどんなに英語に力を入れても、勉強する人に熱意がなければ、結果は芳しくありません。

他の優先事項を妨げることなく、英語を好きになる方法をお教えしましょう。英語を学ぶ一番の方法は、英語を好きになると決めることです。どうぞ英語で生活してみてください。英語を好きになれば、すべては後からついてきます。好きなことなので学習量は多くても大丈夫でしょう。文章でも音声でも映像でも、とにかく英語に触れることでたくさんの成果が得られます。家で英語の映画を見たり、英語の歌を聴いたり、英語の本を読んだり、などいろいろ方法はあります。しかし、映画や歌、本の

whether is it written, audio or video will result to profound learning. There are many ways such as watching English movies at home, listening to English songs, reading English books. You must make sure that the content of these movies, songs, and books suit your interest, otherwise this will lead to boredom and difficulty. To improve your writing skills, you can write a diary-daily activities in English. You can have your English teacher checked your writing. Since the amount of time spend in studying English at school is limited, you have to find a way to supplement the learning process. Your chance to speak English at school during English class serve as your application for these supplemental learning that you do on your own. Doing this will surely improve your knowledge in learning English.



In addition, learning English at an early age also results to a long-term effect of loving English. In Talking Kids, this a perfect place for children to love English at an early age. The learning activities are tailored with fun and interesting English games that turn shyness to excitement. If kids experience fun in learning English, this will be imprinted in their minds and they will take it until they grow up. This will serve a significant foundation to achieving good English skills. Thus, we encourage parents to enroll their kids to Talking Kids to ensure a great foundation in learning English.

内容が自分の好みに合っているかどうか確認しなければ、退屈で嫌になってしまいます。書く力をつけるには、英語で日記を書くのを勧めます。英語の先生に文章をチェックしてもらおうといでしょう。学校での英語の学習時間は限られているので、それを補う工夫が必要です。学校の授業で積極的に英語を話すことも力になります。このような工夫で英語力は確実に向上します。

また、幼少期から英語に触れると、結果的に英語を好きになるという効果もです。トーキングキッズは、幼い頃から英語が大好きになる最適な場所です。学習内容は、子供達の恥ずかしい気持ちをワクワクに変える、楽しくて面白い英語ゲームなどで構成されています。英語を学ぶ楽しさを体験すれば、それが子供達の心に刻まれ、大人になるまでずっと続くのです。これは、英語力を身につけるための大きな土台となるものです。是非、お子様に英語学習の基礎を学んでいただくために、トーキングキッズへのご入会をお待ちしています。

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター



March 2023
Vol. 126
毎月10日発行

【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラトWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

私立受験が終わりました。 皆さん、合格おめでとう。

自転車で走っていると、今福教室の近くの法願寺の桜が満開でした。例年この桜が私が知っている限りでは一番早く咲く桜です。「やっと春が来たんだー」と実感しました。



▲今福教室の近くの法願寺の桜。満開です。

年が明けてからは小学国立受験、大学共通テスト、私立高校受験そして、国公立大学前期対策、公立高校対策と大忙しでした。でも、ようやく3月に入り10日の高校公立入試、大学の後期試験を残すのみとなりました。

小学受験では今年も国立大教大附属天王寺、平野小学校の他、城星、四天王寺、近大附属、追手門小学校に合格を出すことができました。また、私立高校受験は209名が受験し1.5次利用の生徒も出ましたが全員合格することができました。詳しくは坪田先生の記事に譲りますが、年々生徒達の受験校レベルが上昇してきていると感じています。また、今年で開校5年になるカイチ予備校は高1から学ぶ生徒達が受験に挑む2年目の年となりました。受験生は70名を超え、現時点での私立大学受験結果は関関同立合格者が22名(昨年度13名)、産近甲龍合格者が20名(昨年度16名)と躍進する結果となりました。そして既に3名が国立大に合格しています。

みなさん、本当にお疲れ様でした。そして、まだ、大本命の公立高校受験、国公立大後期試験が控えています。昨日もお昼に、今福教室に行くたくさんの中3生が自習に来ていました。受験生のみならず私立受験前から、公立受験対策を重ねてきました。毎週土曜日の公立大予想模試が実施され、月曜日には内申点も考慮された合否予想が発表されます。私達講師も毎回の結果を固唾を飲んで見ているので、生徒達の重圧は大変なものでしょう。毎回、その結果を受け止め、弱点教科や単元、問題傾向の対策を相談しながら次の大予想模試に備え続けてきました。最後の1ヵ月は本当にぎつかったと思います。本当に良くやり抜きました。後は本番を残すのみです。

ただただ、今までの自分達の努力を答案に注いできて欲しいと思います。

このように文章を書いているだけで、熱い気持ちがこみ上げてきてしまうので、それを見守るご家族のお気持ちは察するに余りあると思います。でも、きっと親として今は見守ることしかできない心境でしょう。でも、見守ってくれているご家族がいるからこそ、彼らは安心して頑張ってくれたのだと思います。

彼らは、今から努力の結果を受け止め、人生を自分の足で歩まなければなりません。どうか、自立に向かう彼らに「あなたなら大丈夫」というエールを送ってあげてください。ご家族のその言葉が何よりのねぎらいと励ましになると思います。

また、新年度が始まります。今年も無事たくさん生徒達に来ていただくことができ今年度を迎えることができました。本当にありがとうございます。



▲南野さんのお菓子屋さんの場所に和モダン?!な今福学童ができました。

昨年度、初めての試みとして開校した関目教室のカイチ学童は、好評をいただき昨年11月で新年度募集を終了することができました。また、今年度からは小さな教室のため、たくさんの生徒を見ることはできませんが、今福教室でカイチ学童をスタートすることができました。私達が長年培ってきたトータルエデュケーションのノウハウを保育と交えながら活かさないか、そのような形でご家庭をサポートする新しいカタチを模索していきます。

また、諸口教室の近くグルメリーの東側に諸口第2教室ができました。定期テスト自習時の混雑の緩和と、今後は個別指導、英検対策などをこの教室で実施していく予定です。



▲グルメリー鶴見の東側に諸口教室第2教室ができました。



▲カイチ予備校諸口教室は諸口6丁目3-13グリーンハイツ1Fです。

そして、カイチ予備校諸口校が3月22日に開校します。こちらも大きな教室ではありませんので初年度は新高1生のみ募集となりますが、高木先生を始めとする諸口教室のスタッフと新しく迎える大学受験のエキスパートの先生達と共に、幼児から大学受験までの教室作りを目指していきたいと考えております。

変わりゆく社会の中で、「カイチに行けば安心」と言われるような教室になりたいと願っております。まだまだ至らない私達ですが精進努力を重ねてまいります。今年度も何卒、宜しく願いいたします。

カイチからの お知らせ

- 3月10日(金)は公立入試です。受験生の皆さんガンバレ!
- 3月11日(土)は公立受験採点会&茶話会を行います。中3生是非参加してください。
- 3月20日(月)は公立入試合格発表日です。
- 3月20日(月)~4月8日(土)でカイチ予備校の春期講習を実施します。高1は無料とさせていただきますので是非ご参加ください。
- 3月20日(月)~4月1日(土)は小・中学部の春期集中授業と春期講習を実施します。詳しい時間割は授業内で配布します。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

高殿教室での1年を振り返って

近久 賢治 (高殿教室)

少しずつ寒さも和らぎ、春の訪れを感じる今日この頃です。ご無沙汰しております。高殿教室の近久です。早いもので私が高殿教室の教室長になり1年が経ちました。この1年、色々なことがありました。一日の時間の流れがとても速く、気を張り巡らせながら日々の授業に取り組んでいました。おかげで視点が大きく広がった1年となりました。また、私事ではありますが2人目の子供も生まれ、嬉しい反面、動きがままならない時期もありました。



▲家族が増えました!

さて、今回はそんな高殿教室の1年を振り返ってきたいと思います。まずは珠算部です。珠算部はこの1年で生徒達の成長ぶりが特に目覚ましかったです。競技会の練習で18桁の読み上げ算を合わせられるようになった低学年生や、私の本気の読み上げスピード(まだまだ改善の余地あり)で読んでくれる高学年生など、私が生徒と競い合いながら作り上げた1年となりました。上級検定の参加人数、合格人数も今年1年で増えてきました。実は「今年で高殿教室から1級合格を出そう!」という裏テーマが自分の中であったのですが、あと一息でした。来年こそは、と考えています。



▲検定に向けて頑張っています!

次にトーキングキッズです。英検よく頑張りました!という結果の部分の振り返りもあるのですが、何よりも高殿のトーキングキッズの生徒達は元気で、隣の教室にいても聞こえるくらい大きな声で頑張ってくれていました。とにかくノリが良く、軽妙な流れで授業が進むので、私自身も何度も元気を分けてもらいました。英語でも日本語でも「声を出すことの大切さ」を再確認した1年でした。



▲TK理科実験にて。みんな元気です。

小学5年生、小学6年生が通う小学部では、5年生は診断テストで少しでも良い点を取ろうと塾の無い日でも自習や予想問題の質問をしに来る生徒が増えてきました。学習の習慣を作ることはこれからの人生で大切なことなので頑張ってほしいです。6年生はもうすぐ中学1年生になります。中学生になったらどう生活が変わるだろう、部活動は何にしよう、など思いをはせている生徒は多くいます。中学に入ると1年生の通知表から高校入試の評価対象となります。カイチの小学部で行っていた学習方法や勉強姿勢は中学に入っても必ず通用します。安心して中学生生活を邁進してください。

中学1年生は今年1年で大所帯となりました。近久担当科目が4科目、ということで生徒達も「もう先生の授業飽きたわ〜」と思っていないか少し心配ですが、みんな本当に頑張っています。目標を決めて、計画を立て、実行する。そして足りない部分やイレギュラーな部分を修正していく。そんな話を授業中にしています。その流れを今はしっかり守ってください。

中学2年生も大きく飛躍した1年でした。主に定期テストの飛躍が目覚ましかったです。初の400点台に入ったよ!というお話を何件も聞きました。単純に点数を上げてくれた、という嬉しさもありますが、面談等でそれを嬉しそうに報告してくれる喜びが講師冥利に尽きます。これから先、受験生となり苛烈な毎日が訪れます。共に1年頑張っていきましょう。



▲カイチ賞ゲットです!

そして中学3年生。高殿教室がオープンした時に中学1年生だった生徒達が、ついに高校受験を迎えました。私自身、開智に入社して5年生を持ちあがりで見えたクラスとなり思い入れもひとしおなクラスです。皆自分の弱部分、ダメな部分に目を背けず頑張れる生徒達だと信じています。この記事が出る頃はすでに塾を卒業して公立入試の結果まであと1週間、ということだと思います。良い結果報告が聞けるのを祈っています。



▲3年生。今からお参りに行きます!

いよいよ新年度が始まります。卒業していった受験生達は本当に頑張ってくれていました。その先輩達で作った教室も今年もまたいい形で塗り替えていけるように職員一同全力でサポートしていきたいと思えます。よろしく願います。

Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



私立入試を終えて

坪田 陽一 (諸口教室)

2月10日を皮切りに行われた私立高校の入試。カイチでも中3生200名以上が受験しました。結果は「全員合格」ではありませんが、残念ながら第一志望校ではなく1.5次入試での合格だったり、希望するコースではなかったりした生徒もいました。

何はともあれ、これで終わりではありません。公立高校が第一志望の生徒の皆さんは3月10日が「決戦」ですから、ここからさらに勉強の「質」「量」とともにレベルを上げていく必要があります。また専願で合格し、もう私立高校入学が決まっている皆さんも、学校からすでに様々な課題が出ていることでしょう。大学入試までの3年間、または高大一貫のコースなら7年間、すでに新たなステージでの戦いは始まっています。

さて、今年の私立高校入試について総括していきたくと思いますが、せっかくなので、過去5年間のデータも一緒にお見せしながら、私立入試について所見を述べたいと思います。

まず「専願率」というものをご存じでしょうか。「全出願者数の中の、専願の生徒の割合」です。専願とは「滑り止めとして私立高校を受験するのではなく、その私立高校を第一志望とする」ことです。私立高校無償化の影響により、大阪府全体では年々専願率が増加しています。今年度が28.65%で、7年ぶりに減少に転じたものの、すでに4人に1人以上が専願で出願しています。そこで、カイチだけで過去5年間の専願率の推移を計算してみました。

表1 開智総合学院 私立専願者数及び専願率の推移

	2019	2020	2021	2022	2023
専願者数	51人	57人	49人	65人	73人
専願率	23.9%	25.1%	27.4%	30.8%	34.9%

表1を見ていただくとわかる通り、カイチでは、すでに3人に1人以上が専願という状態です。「高校は公立ではなく私立」と決めているご家庭が3分の1以上ということです。では、過去5年でどんな学校がカイチでは選ばれているか、調べてみました。

表2 私立高校別合格者別ランキング
※数字は合格者数。()内は専願の合格者数。

	2019	2020	2021	2022	2023
1位	産大附属36(3)	国府大和田41(8)	国府大和田45(4)	大阪国府45(8)	大阪国府43(9)
2位	常翔34(7)	産大附属37(0)	常翔29(7)	常翔29(7)	常翔38(15)
3位	国府大和田34(6)	常翔34(7)	産大附属17(0)	近大附属16(5)	近大附属26(8)
4位	大森南橋16(2)	近大附属23(6)	近大附属12(5)	産大附属16(5)	産大附属17(5)
5位	近大附属14(7)	夕陽丘学園9(1)	夕陽丘学園9(0)	大阪桐蔭10(2)	大阪桐蔭11(2)

先に誤解のないように申し添えておきますと、当然、これ以外の学校にも多数様々な学校に合格しています。また特定の学校の受験を勧めるということもしていません。念のため。

さて、表2に現れる学校名は大体同じですが、順位の変動が大きいのが産大附属、そして近大附属です。産大附属受験者は以前と比較して半分まで減りました。その一方で近大附属、そして桐蔭がじりじりと合格者を増やしています。特に今年は近大附属の最上位であるSuper文理コースに最多の11名合格が出ました。同じく常翔のスーパーコースにも5名、桐蔭1類にも8名と、いずれも過去5年で最多です。また専願合格者も、常翔の15名をはじめ、表中の各高校いずれも最多を更新しています。

その一方、近大附属で数名不合格が出ました。進学コースで400名定員のところ、専願だけで452名殺到しているの、当然多くの不合格が出ます。「専願だから大丈夫」ということは全くないということです。定員割れの私立もあります。人気校を受験するならば、やはりそれ相応の努力と覚悟が必要だと、あらためて思い知らされることとなりました。

このように、カイチの受験指導の内容は、年々上位コースへの合格者が増えていくことから、決定的外れではないと考えています。しかし、それでも入試は甘くない。そこで、ほんの少しでも奇跡を引き寄せるために、入試直前に2つのイベントを実施しています。

一つ目は神社へのお参り。教室ごとに近くの神社へ生徒を引き連れ合格祈願します。昔々の

戦国武将、織田信長も上杉謙信も出陣前には神頼みしていたとか。ご利益があるのかわかりませんが、防寒対策を万全にして毎年行きます。

二つ目は「激励会」。各教室で入試直前、担当講師が順にエールを送るイベントです。例えば私は諸口教室で指導しておりますが、今年は総勢10名ほどの講師&卒業生が生徒達の前で熱く話してくれました。それぞれ一生懸命考えてきた内容を話してくれるので、トリをつとめる社員の我々もプレッシャーです。最後はキットカットなどの縁起物のお菓子を配って笑顔で送り出します。



▲おじさん二人で思い出話をしています…。

合理的に考えれば、そんな時間があるなら一問でも多く問題を解く方が、合格可能性が上がる気はしますが、でも、こういう伝統は大事にしたいと思うのです。

武道では、心技体の3つの要素が大切だと言われます。入試という、人生を左右しかねない大勝負の時、いつも通りの力を発揮するためには、技(=知識)、体(=体調管理)とともに、「心」も整えていく必要があります。神様や、教えてくれた先生、周りの仲間、先輩後輩からたくさん「応援」という心のエネルギーをもらうこと。それによって緊張が少しほぐれたり、闘志が湧いてきたり、自信を取り戻したり一歩のことですが、それで+10点くらいの効果がありそうだと思うませんか?

何やら宗教っぽい話になりましたが、多くの受験生を送り出してきた経験上、最後の最後で合否を分けるのはそういう「気合」とか「勢い」だと、科学的根拠はありませんが確信をもって言えます。入試当日の朝、最後に送り出すのは保護者の皆さんです。ぜひ一言、我が子の心にパワーを与える言葉を投げかけてください。



▲今回のベストスピーチでした!



▲防寒対策を万全にして合格祈願!